



# THE INCOME ADEQUACY INDEX

~Family Support~

C09037 酒井 若葉

# 多世帯での生活

- 発展途上国(インド・中国・メキシコ・チリ・ブラジル)50%以上  
先進国とヨーロッパ諸国 20%以下  
※例外: 日本44%・スペイン42%・イタリア28%
- メリット: 足りない世代に給付金が回る
- これから  
→ 今のまま多世帯の割合を保つことができる?  
or  
出生率の低下に伴い多世帯の割合も低下する?



# 高齢者1人:若者?人

《2007～2040年にかけて

高齢者一人に対する若者の人数の増加値》

○ 発展途上国(中・伯・韓・墨): -2.5～-1.6

→例外)印: -0.9(少子化がゆるやか)

○ 先進国・欧州諸国: -0.2～-0.7

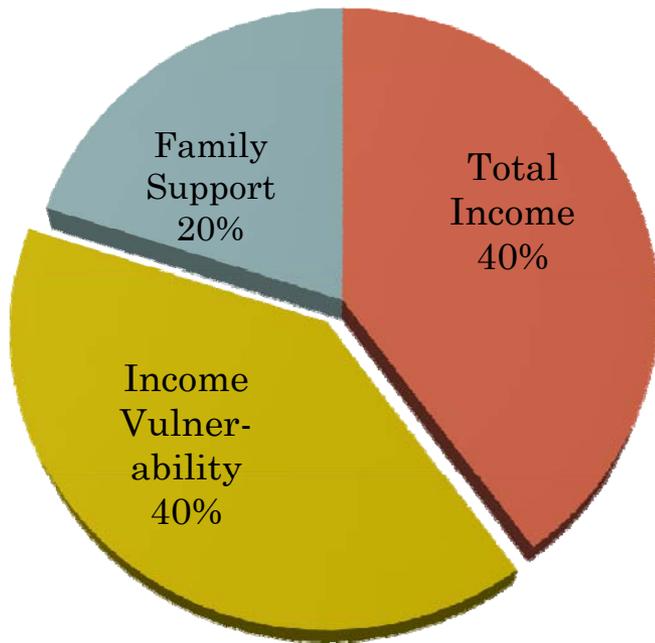
→例外)伊・西: -1.2～-0.9(少子化開始が遅い)

豪・加・蘭・米: -1.5～-1.0(戦後ベビーブーム)



# GAP INCOME ADEQUACY INDEX (収入適性)

## Overall Index



- 総合Best4の蘭・伯・米・独  
...総合収入・収入持続性Top5以内
- 総合Worst3の中・韓・墨  
...総合収入・収入持続性Worst3

収入持続性の高さが  
全体の順位を左右する！



# THE INCOME ADEQUACY INDEX

Ayaka Sasaki

# Aging Preparedness

---

- **Fiscal Sustainability:** 財政的な持続性
- **Income Adequacy:** 収入適正

# Total Income

- **Total Income Level**

2040年の高齢者の手取り収入額と、非高齢者の手取り収入額の平均の比率

- **Total Income Trend**

2007-2040年の高齢者の手取り収入の平均と非高齢者の手取り収入額の平均の比率の変化

# Total Income-2

## <先進国>

- 高齢者の高い総収入  
公的医療給付を含む  
手取り収入の適用

## <途上国>

- 低い生活水準  
十分に発展していない公的/私的退職制度

# Total Income-3

- ・総収入トップ10 → 総収入動向でもトップ10
- ・総収入ワースト10 → 7カ国は総収入動向  
ワースト10
- ・2040年に高齢者が裕福な国  
現行の公的年金給付の最小限度のカット  
＋長期の医療給付金の増加

# Total Income-4

- ・2040年に高齢者があまり裕福でない国
  - 現行の公的年金給付金の大幅カット
  - + 少ない給付金
  - + 高齢者の労働参加率の低迷

# Income Vulnerability

- **Median Income Level**

2040年の高齢者の手取り収入の中央値と  
非高齢者の手取り収入の中間値の比率

- **Median Income Trend**

2007－2040年の高齢者の手取り収入の中央  
値と非高齢者の手取り収入の中間値の比率の変  
化

# Income Vulnerability-2

## ▪ Poverty Level

2007年/最も最新のデータを使った全ての人を対象にした手取り収入の中間値の50%以下の所得しかない高齢者の割合

## <Median: 中央値とは？>

データを小さい順に並べたときに、ちょうど真ん中になる値のこと

# Income Vulnerability-3

- ・中間所得層の所得予想—政策に関係

生活水準(高)—高齢者に関する費用の抑制  
政策が簡易

生活水準(低)—高齢者に関する費用の  
カットが難易

# Income Vulnerability-4

## ・高齢者の貧困レベル

＜ヨーロッパの大半＞貧困率が低い

①しっかりした福祉援助 ②均衡した収入

③公的年金給付金のサポート

④低所得高齢者への支援

＜その他＞貧困率が高い

①不均衡な収入 ②低所得者向けサポートの不足